

1000年も前から人々を見守る薬王寺の仏様



市HP

可児市のじまんとほこりVol.8 歴史じまん

問 歴史資産課

内 2422



薬王寺本堂(帷子地区)



薬王寺の仏像

すごいpoint

- ・約1000年前の平安時代に造られた仏像があるよ。
- ・仏像やお寺を、地域の人たちが力を合わせて守ってきたんだね。

◎薬王寺とは

薬王寺は、東帷子にある天台宗という宗派のお寺です。

薬王寺のお堂には、仏像などのたくさんの文化財があります。薬王寺のお堂は、江戸時代に建てられたもので、現在可児市内に残っている建物の中でも特に古いものの一つです。

薬王寺で一番大きな仏像は、高さが2.7mもある本尊の薬師如来坐像です。この薬師如来は、病気治療の仏様として信仰されており、今から約1000年前の平安時代に造られました。その胴体部分には、1本の大きな木が丸ごと使われています。

薬王寺には薬師如来以外に6体の仏像があるほか、軒先に彫られている2匹の竜は、生きているかのように動いたという伝説のある彫刻です。薬師如来を含めたこれらの仏像と彫刻は、建物と共に文化財に指定されています。

◎薬王寺の自然

薬王寺の境内北側のため池^{けいだい}では、絶滅危惧種に指定されている「ヒメコウホネ」や、千葉県^{ちば}の遺跡から発見されたハスの種からよみがえった「大賀ハス」が6～8月ごろにきれいな花を咲かせます。



ヒメコウホネ



大賀ハス

※ 本記事は、「可児市のじまんとほこり2025」から、一部編集を加えて転載したものです。薬王寺の仏像は通常時非公開です。

